

2018年1月26日(金)

有明新報 3面

自主学習支援を研究

ワークショップで奨励賞

有明高専 専攻2年 谷口さんが学会発表

大牟田



田中支部長から表彰状を受ける谷口さん(右)

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校(高橋薫校長)の学生が、自主学習支援システムに関する研究について発表し、学会で入賞した。同高専では2017年度後期にこのシステムを活用した授業を行っており、効果の検証やさらなる改善を図る。

生産情報システム工学専攻科2年の谷口幹さんは「動画教材によるアナログ回路設計反転授業システムの構築」と題し、広島市の広島工業大学で行われた第6回電子デバイス・回路・照明・システム関連教育・研究ワークショップ(一般社団法人照明学会中

国支部主催)で発表。24件の中から奨励賞4件に入った。

反転授業とは授業時間外にデジタル教材などで知識を習得し、教室では課題について考えたり、レポート作成などを行う授業形態。動画教材に受講者が知識

を得るのを助ける役割を持たせることで自由なタイミングでの自主学習が可能になり、実習の際に復習を助ける役割も与えて受講者が復習する際に教育者は実習

(高本明)